

環境にやさしいライフスタイルを促進する 12,452千円

【エコライフ普及事業の推進／地域エコ活動の推進】



「SHINAGAWA "もったいない" 推進店」ステッカー

# 5

## 暮らしを守る安全・安心都市

平成28年度計画事業費 33,931百万円

地域における防災・応急体制の構築を推進し、災害に強いまちをつくりまします。また、犯罪や事故から区民を守る安全・安心のまちづくりを進めます。

### 災害に強いまちをつくる 7,380,010千円

災害対策を総合的に推進する

市街地の防災性・安全性を高める

6,360,144千円

【「東中延1・2丁目、中延2・3丁目地区、旗の台・中延地区、二葉3・4丁目、西大井6丁目地区、豊町4・5・6丁目地区、西品川2・3丁目地区、大井5・7丁目、西大井2・3・4丁目地区密集住宅市街地の整備促進」、感震プレーカー設置の普及促進／木造住宅等の耐震化支援、耐震化アドバイザーの派遣／「補助26号線その2地区、戸越公園一帯周辺地区都市防災不燃化の促進」、



不燃化の促進（避難通路の整備）

「荏原北・西五反田地区、戸越・豊町地区防災生活圏促進事業の推進」、滝王子通り地区避難道路機能の強化、特定整備路線（補助29号線・放射2号線・補助28号線）沿道不燃化の促進、橋梁の長寿命化の推進、安全な避難路等の確保／雨水流出抑制対策の推進、排水施設の新設、防水板の普及促進、崖・擁壁の安全化対策の促進】

地域の防災力を強化する

93,098千円

【災害対策基本条例の普及啓発、区民・事業者等への防災教育の充実、地域における防災訓練の充実／地域・行政・事業所の三者連携による地域防災力の向上／避難行動要支援者の支援／津波・高潮対策の推進】



避難誘導ワークショップ

応急活動体制を強化する

926,768千円

【職員の初動体制の強化／木密地域における街頭消火器の増設、区立学校へのミニポンプ等の配備／災害時医療救護体制の強化／避難所機能の充実、災害復旧拠点等の水洗トイレ機能の確保、備蓄物資等の充実／情報収集・伝達手段の充実／駅周辺帰宅困難者対策の推進、徒歩帰宅者支援対策の推進】

### 魅力的で住みよい市街地を整備する 23,684,790千円

地域特性を活かした魅力あるまちをつくる

23,599,120千円

【大井町駅周辺地区の整備促進、大井一丁目南第1地区・大井町駅西口E地区・広町地区の整備、大崎駅周辺地区の整備促進、大崎三丁目地区・西品川一丁目地区・大崎西口駅前地区の整備、五反田駅周辺地区・品川駅南地域周辺地区の整備促進、目黒駅前地区の整備、品川シーサイド駅周辺地区の整備促進／武蔵小山駅周辺地区の整備促進、武蔵小山駅前通り地区・武蔵小山パルム駅前地区・小山三丁目第1地区の整備／地域によるまちの自主的な管理運営の支援、区民の自主的なまちづくりの支援】



再開発事業（西品川一丁目地区）

安心して生活できる住まいづくりを進める 85,670千円

【住宅修築融資のあっ旋、親元近居の支援、住宅改修の支援、空き家対策の推進／分譲マンションの管理支援】

### 便利で安全な交通環境をつくる 2,616,413千円

利便性の高い公共交通網を整備する

5,000千円

【京浜急行線（品川駅～新馬場駅）連続立体交差化事業の促進】

道路ネットワークを整備する

1,891,288千円

【道路の改修、細街路の拡幅／補助第163号線・第205号線の整備】

安全な道路環境をつくる

720,125千円

【交差点の改良、違法駐車防止対策の推進、駐輪場の整備、放置自転車撤去活動の推進／自転車走行環境の整備、自転車安全教育の推進／交通安全教育の推進】

### 区民生活の安全を確保する 249,159千円

犯罪に強いまちをつくる

249,159千円

【地域住民が主体となった防犯対策の強化、官民一体となった防犯対策と意識啓発の推進／客引き行為等防止の推進／子どもを見守る地域ネットワークの拡充】



マスコット防犯PR活動事業

消費生活の安全・安心を確保する

## 区政運営の基本姿勢

平成28年度計画事業費 1,289百万円

区民と区による協働のまちづくりを進めます。また、事務事業や区の施設のあり方の検討、組織体制の見直し、職員の資質の向上など、行政改革を一層推進します。さらに、地方分権改革を推進し、基礎自治体としてのより一層の基盤の確立を図ります。

### 協働による区政運営を推進する 70,029千円

区民の声を聴き、区民への情報提供を充実させる

70,029千円

【意見交換が活発になるしくみづくり／区民とともに情報発信の充実、情報要支援者のための情報提供の充実、シティブロモーションの推進／区政資料の収集と情報提供の充実、区政・地域情報の発信と活用／公共サインの設置推進】



“わ！しながわ”キャンペーン

多様な協働を促進する

### 行政改革を継続的に推進する 1,200,768千円

効果的・効率的に施策を展開する

772,797千円

【民間活力の活用、新公会計の整備・活用／老朽施設の計画的修繕・改修、公有地等の有効活用推進】

電子区役所を推進する

423,545千円

【区民サービスの電子化／行政の省力化・効率化の推進／情報セキュリティの確保、災害時等における業務継続計画の推進】

区民に信頼される職員を育成する

4,426千円

【区政運営の原動力としての新たな職員能力の開発／区民との協働を基本姿勢とする職員の育成】

### 基礎自治体としての基盤を確立する 18,480千円

地域の実情に即した施策を総合的に展開する

都区制度改革・地方分権を一層推進する

12,080千円

【国家戦略特区事業の推進／全国自治体との連携強化】

ゆるぎない財政基盤を確立する

6,400千円

【住民税啓発・納付促進事業の推進】

# 品川区総合実施計画ダイジェスト版について

このたび、品川区の将来像である「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」を実現するための区政運営の具体的指針として品川区総合実施計画（第4次）を策定いたしました。

この「品川区総合実施計画」のダイジェスト版は、今後3年間に区が実施する様々な分野の事業を、皆さまにご紹介することを目的として作成したものです。



## 品川区総合実施計画(第4次)の 策定にあたって

品川区長 濱野 健

このたび、平成28年度から平成30年度までの3カ年を計画期間とする品川区総合実施計画（第4次）を策定いたしました。

この総合実施計画は、平成26年度に改訂した品川区長期基本計画の最後の3カ年を締め括り、「輝く笑顔 住み続けたいまち しながわ」の実現に向け、真に必要な施策を一層のスピード感を持って的確に推進するため、策定いたしました。

品川区を取り巻く社会経済環境の変化は、ますます早く、大きく、そして複雑化しており、それらへの対応は時機を捉え迅速に進めなければなりません。

国が掲げる「一億総活躍社会」に向けての施策や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据えた事業など、その影響を機敏に捉え、効果的な活用と連携が必要です。

また、東日本大震災から5年が経過しましたが、区からも被災地復興に向け職員を派遣し支援を続けており、この震災からの教訓は決して風化させることなく、区の防災対策に着実に生かさなければなりません。

さらに、昨年実施した最新の人口推計では、平成39年までの人口増を予測し、中でも年少人口は平成38年まで伸び続けるもので、そこから見込まれる行政需要への対応を急ぐ必要があります。

今後も効果的・効率的な区政運営に努め、健全財政を堅持しながら、区民が真に必要なとする施策を迅速かつ的確に推進するとともに、区のシティプロモーションのキャッチコピーである「わ！しながわ」を合言葉に、区民の方々が区に一層の誇りと愛着を持ち、住み続けたいと感じ、区外の方々が品川区への興味を抱き、訪れ、住んでみたいと思えるまちを作ってまいります。

平成28年4月

## 皆様のご意見をお寄せください

ご意見は、郵送またはFAXで、下記までお寄せください。

〒140-8715 品川区広町2-1-36

FAX：5742-6870 電話：5742-6607

品川区企画部 企画調整課

実施計画の本文は区役所区政資料コーナーまたはお近くの図書館でご覧いただけます。